

初級：（英作文講座とメール講座）

1. 人の視点で表現する練習（英作文課題）

英語では”誰”が”誰”に”どうした”ということの主語や目的語にしてきちんと表現する必要があります。日本語では「水をくれますか。」という文には「人」は出てきませんが（もちろん場面の中では認識されていることですが）、英語では”Will you give me some water?”という具合に「あなたは私に水をください。」などと表現します。

2. ”get”の使い方（英作文課題）

英語の動詞の中で最もよく使われると言っても過言ではないのが”get”です。”get”は全ての文型の形を取ることができる上、”get”を使ったイディオムも非常に多いからです。”get”を使わずに会話をするのはネイティブ・スピーカーにとって難しいことでしょう。それくらい、多用される動詞ですので上手に使えるようになってください。

3. 誰かに～をしてもらう（英作文課題）

「人に～をしてもらう。」という表現はビジネスの場面にもよく使えます。これらの文は「主語が誰かに～するようにする／頼む」などと複雑な形の文になるため、リスニング時にも聞き逃しやすい傾向があります。ぜひ音読練習でしっかりと自分のものにしてください。

4. 文と文をつなげる（英作文課題）

初級レベルの目標の1つは文と文の流れをうまく表現できるようになることです。接続詞の練習もしますが、まずは、どういう順番で話を進めるのかを考えることが重要です。順番が正しければ何もつけなくても文のつながりがしっくり行くことも多々あるからです。このレッスンでは文をつなげる練習をしますが、2つの文をつなげて1文にするだけでなく、2つの文の流れをつなぐ練習をするのが目的です。

5. テーマ：もし～したら（英作文課題）

条件を表現するのは”if”と”when”が代表的です。”if”というと仮定法を思い出すのではないのでしょうか？でも、「もし～なら、～します。」の意味では仮定法は必要ありません。「明日晴れたら、テニスをします。」などの表現は、”If it's nice out tomorrow, I'll play tennis.”と表現します。条件の説明が上手にできるようになれば機械の操作説明・手順説明などにも大きく役立つはずですよ。

6. テーマ：何かを頼む（英作文課題）

依頼をするには、1) 命令文を使う方法、2) 疑問文を使う方法、3) 希望を表現して依頼する（"I'd like to get the information."などのように希望を表現して依頼するものもあります。）があります。どの場面にどの依頼のしかたが適切かということがこのレッスンでのポイントです。同じことを頼む場合も言い方しだいで受け取り方もかなりちがうものです。英語はこのあたりにセンシティブな言葉といえます。それぞれの依頼のしかたのニュアンスの差を理解するコツは、聞き手の視点を意識することです。

7. テーマ：便利な表現いろいろ（英作文課題）

日本語には「私は幹事です。」「田宮さんが木村商事の担当です。」などのように「幹事」「担当者」などの名詞を使った表現が数多くあります。これらを英語にするときは単純に「名詞」だから「名詞」にするというわけにはいきません。

8. ミーティングの通知（英作文課題）

今回の課題は、今まで学習して来たことを実際に使っていきます。それぞれの課題は直訳するのではなく、英語にしやすい日本語を考えてから英語で作文するようにしてください。（ミーティングの通知に関する英作文練習）

9. テーマ：情報を求める（メール課題）

情報を尋ねるメールを書く練習

10. テーマ：友人と会う約束をする（メール課題）

友人と会う約束をするメールを書く練習

初級用メール課題オプション

6. テーマ：質問する（メール課題）

商品について質問をする問い合わせメールを書く練習

7. テーマ：知らせる（メール課題）

パソコンのウィルス感染を知らせるメールを書く練習。

8. テーマ：確認する（メール課題）

受け取り確認をお願いするメールを書く練習

※オプション課題を選択することで、メール課題を増やすことが可能です。